

墨田区立 押上小学校 オリンピック・パラリンピック教育

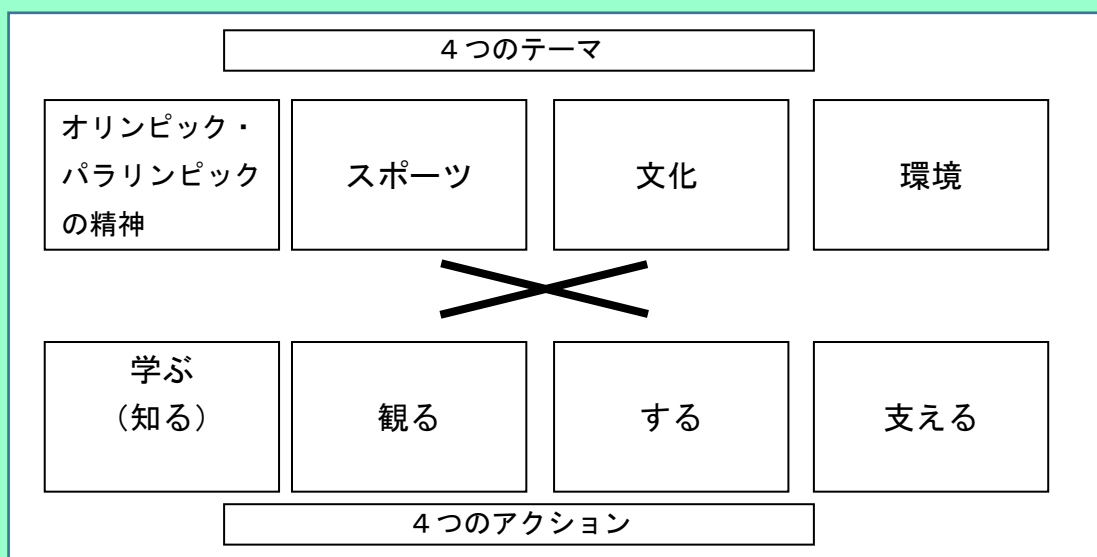
1 オリンピック・パラリンピック教育が目指す人間像

- (1) 自らの目標を持って自己を肯定し、自らのベストを目指す意欲と態度を備えた人
- (2) スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人
- (3) 日本人としての自覚と誇りを持ち、自ら学び行動できる国際感覚を備えた人
- (4) 多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献できる人

2 取組に当たっての基本的視点

- (1) 全ての子供が大会に関わる
- (2) 体験や活動を通じて学ぶことを重視する
- (3) 大会後も見据え、計画的・継続的にオリンピック・パラリンピック教育に取り組む

オリンピック・パラリンピック教育 4つのテーマと4つのアクション



全校で4テーマ×4アクションの多彩な取組を行うが、とりわけ**5つの資質の育成**に重点を置く。

(1) ボランティアマインド

発達段階に応じてボランティアに関わる取組を継続的・計画的に行い、社会貢献や他者を思いやる心、「おもてなし」の精神等を育むとともに、子供たちの自尊心を高める。障害のある児童・生徒が社会貢献やボランティアに参加できる仕組みを構築する。

(2) 障害者理解

障害の有無に関わらず、ともに力を合わせ生活できる共生社会を実現するため、障害者理解の学習・体験や障害者との交流を通じ、多様性を尊重し、障害者を理解する心のバリアフリーを子供たちに浸透させる。

(3) スポーツ志向

多様なスポーツへの興味・関心を高め、体験することを通じ、フェアプレーやチームワークの精神を育み、心身ともに健全な人に育てる。

(4) 日本人としての自覚と誇り

日本の伝統や最新の文化を学び、世界に発信する力を育てるとともに、日本人の規範意識や公共の精神等を学ぶことを通じ、日本人としての自覚と誇りを身に付ける。

(5) 豊かな国際感覚

世界の多様な国々の歴史や文化を学ぶとともに、留学生や外国人、海外の学校等との交流を促進し、豊かな国際感覚を養う。

各学校の特色や学校長の経営方針等に基づき、**年間35回程度**を目安とし、**学校全体で組織的・計画的に実施するとともに、一つの教科等に偏ることなく、全教育活動で展開する。**

学校の教育目標

- オリンピック・パラリンピックの価値・精神
- 東京大会2020大会のビジョン

- 東京のオリンピック・パラリンピック教育の目標
- オリンピックパラリンピック教育の基本的視点
- オリンピック・パラリンピックの具体的な推進策

学校のオリンピック・パラリンピック教育の目標

自らの目標に向かって努力する心を養い、仲良く協力し合いながら、運動や学習に取り組むことができる児童を育成する

体験や活動を重視した4つの取組を推進

- ① 東京ユースボランティア（資質（1）、（2）を育成）
ボランティア活動等を実施
- ② スマイルプロジェクト（資質（1）、（2）、（3）を育成）
特別支援学校と地域の学校との交流を充実
- ③ 夢・未来プロジェクト（資質（1）～（5）を育成）
オリンピック、パラリンピアン、外国人アスリートとの交流
- ④ 世界ともだちプロジェクト（資質（4）、（5）を育成）
地域在住の留学生、大使館や海外の姉妹校との交流